

# 第19回対話の場について

第19回

- 日時：2024年6月24日（月）18:30～
- 場所：漁村センター
- 出席者：委員14名、ファシリテーター6名、神恵内村役場、資源エネルギー庁、北海道経済産業局、北海道庁、NUMO

## <今回の対話の場の内容>

- ◇ 運営委員会の開催結果報告
- ◇ 文献調査報告書(案)に関する報告
- ◇ 4つのテーマによるテーブルワーク

\*「文献調査と地層処分」「神恵内の防災」「まちづくり」「地層処分についてもやもやしていること」

## ◆ 運営委員会(6/5)の開催結果報告

- ① 第18回に続いて、文献調査報告書(案)の説明を行うことを確認しました。
- ② 第18回「対話の場」で「委員の皆さんに概要調査への賛否を聞いてみてはどうか」との提案があり運営委員会で検討しました。その結果「『対話の場』は賛否を問う場ではない」等の考えから提案への賛成意見はありませんでした。また、「対話の場」においても委員の皆さんに確認しましたが、提案に賛成する人はいなかったため、賛否確認は行わないこととしました。

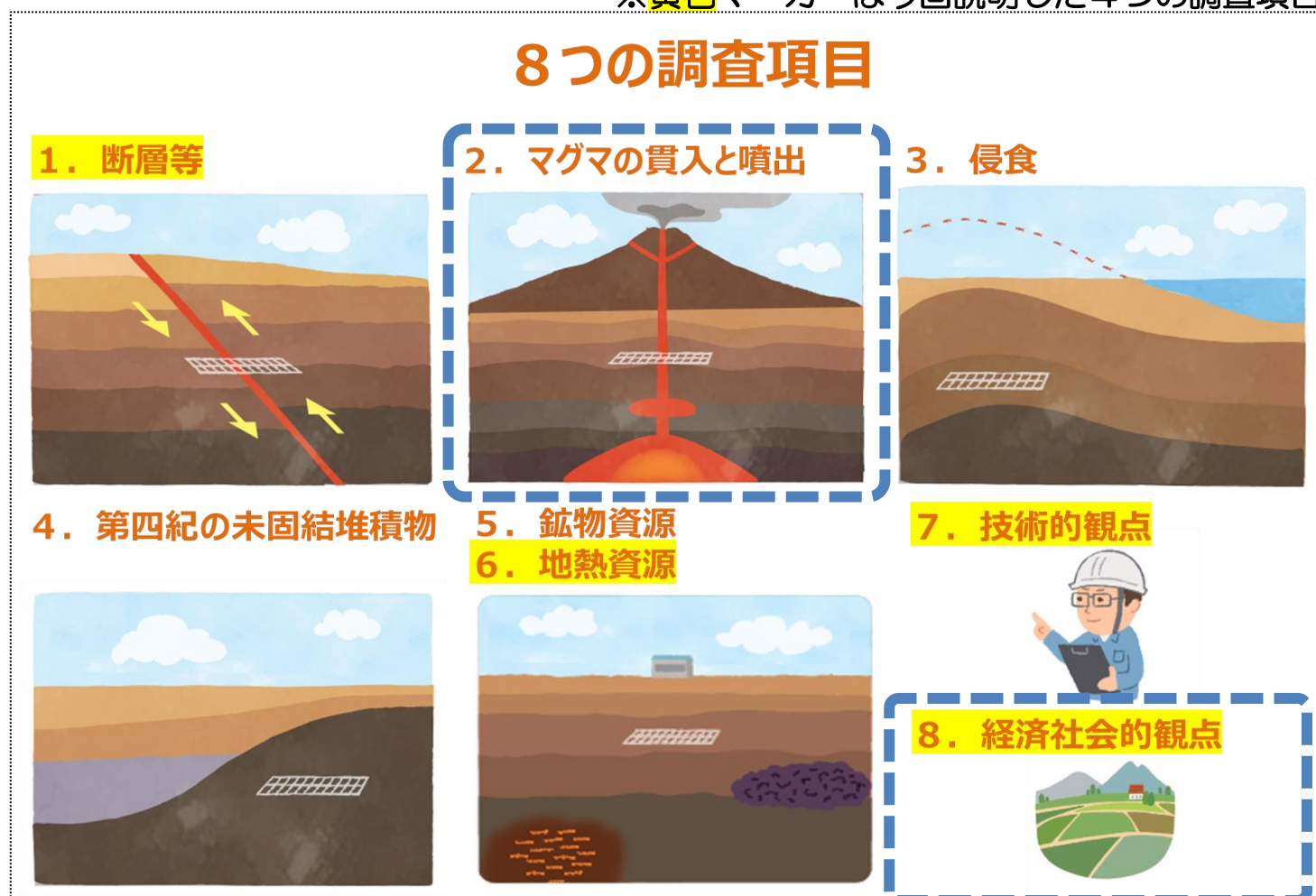
## ◆ 文献調査の報告書(案)に関する報告 ※報告書(案)については、現在、国の審議会で審議中です。

- 今回は、以下の4つの調査項目について、NUMOから説明しました。  
「神恵内村の断層等について」「神恵内村の地熱資源について」  
「技術的観点からの検討について」「経済社会的観点からの検討について」

### ● 8つの調査項目と調査結果まとめ

- 文献調査の結果、「2.マグマの貫入と噴出※前のご説明」「8.経済社会的観点」において、避ける場所が確認されました。

※黄色マーカーは今回説明した4つの調査項目



## ● 神恵内村の断層等について

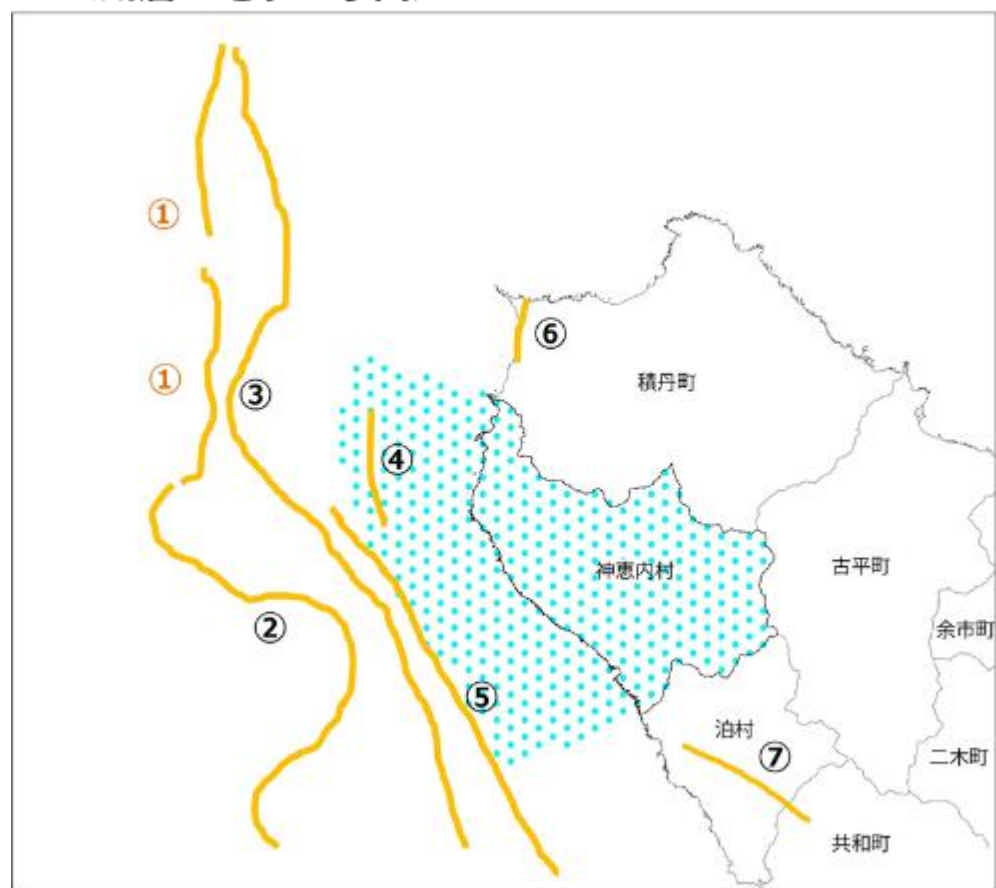
➤ 断層がずれることで、処分場が破壊されるおそれがあるため、以下の基準に該当する場合は避けます。

- (ア) 約12万～13万年前以降の活動を否定できない**活断層**の断層面
- (イ) その**周辺の断層**の断層面及び地すべり面
- (ウ) 古い断層※1のうち、**10km以上の規模が大きい断層**の断層面
- + (エ) 上記 (ア)～(ウ) の断層面の近くの**ずれている部分**※2

※1：活断層ではないものの、将来的な活動の可能性を考慮 ※2：いずれも「ずれ」が確認できるもの。ずれている部分避ける

➤ 神恵内村及び周辺の陸域と海域では、以下の断層及び地すべり面の分布状況が確認できましたが、いずれも上記の基準には該当しない断層でした。

### <断層・地すべり面>



①～⑦、A、Bのおおよその位置 (地理院地図の白地図に加筆)

#### 【海域の断層】

- ① 神威海脚西側の断層
- ② 渡辺・鈴木 (2015) らの海底活断層
- ③ 積丹半島西方断層
- ④ 中田 (2015) らの海底活断層
- ⑤ 活断層研究会編 (1991) の海底活撓曲

#### 【陸域の断層】

- ⑥ Kumamoto et al. (2016) の活断層
- ⑦ 発足北リニアメント※

#### 【地すべり】

- A 沼前 (のなまい) の地すべり
- B 川白 (かわしら) の地すべり
- その他にも多数の地すべりあり

#### 【凡例】

断層及びリニアメント



文献調査対象地区  
(海岸線から15km以内にある大陸棚の範囲を示しています。)

※リニアメントとは、地表に現れた直線的な地形のこと。断層による変位や、性質の異なる地層の境界が原因である。

## ● 神恵内村の地熱資源について

➤ 地熱資源があると、将来掘削等の恐れがあり、人間があやまって放射性廃棄物に触れてしまう可能性があるため、以下の基準に該当する場合は避けます。

- (ア) 地温勾配※が、**100°C/km**を大きく超える
- (イ) 周辺数キロメートルに、**地熱発電所**がある

※地温勾配とは？

地温勾配は地下において深さが増すに従って温度が増加する割合を示します。

➤ 神恵内村で確認された最大の地温勾配は、深さ1キロを増すごとに最大で86°C程度でしたので、上記の基準には該当しませんでした。



### <過去のボーリング調査で推定された地温勾配>

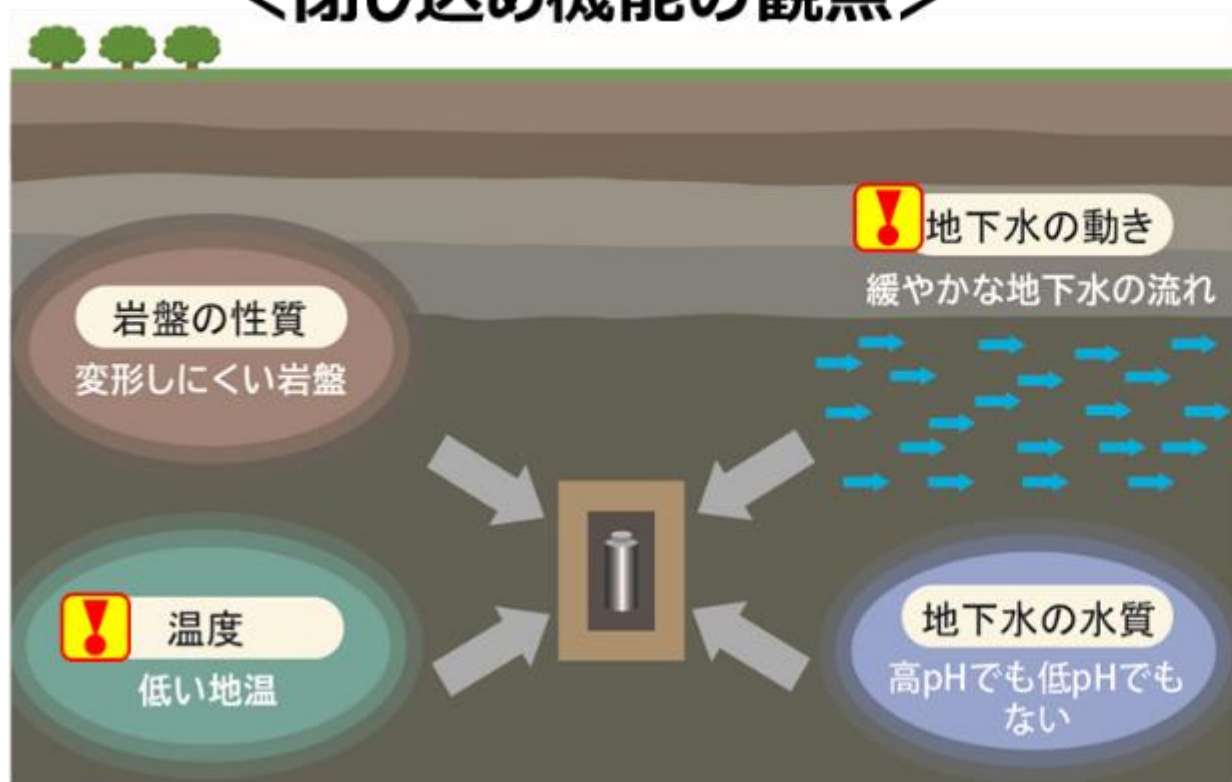
坑井番号	地温勾配 (文献1)
<b>417-001</b>	<b>86°C/km</b>
417-002	72°C/km
417-003	70°C/km
417-011	61°C/km
408-001	54°C/km
KAMOENAI	58°C/km
417-002	—



## ● 技術的観点からの検討について

- 技術的観点とは、「断層等」や「マグマの貫入と噴出」などの基準以外の観点から、地下施設の設置場所として「適切でない場所の回避」や「より好ましい場所の選択」を検討したものです。
- 文献では情報が十分ではないので「適切でない場所の回避」や他の場所と比べて「より好ましい場所の選択」までには至りませんでした。
- しかし、文献では情報が十分ではないものの、地温、地下水を流そうとする力については、好ましくない可能性があると考えました。現地調査で十分なデータを取得する必要があります。

### <閉じ込め機能の観点>



### <建設可能性の観点>

- 岩盤が一定規模以上の広がりがある。
  - トンネルが十分に安定するような岩盤の硬さである。
  - ⚠ トンネル工事に支障のない地温である。
- など

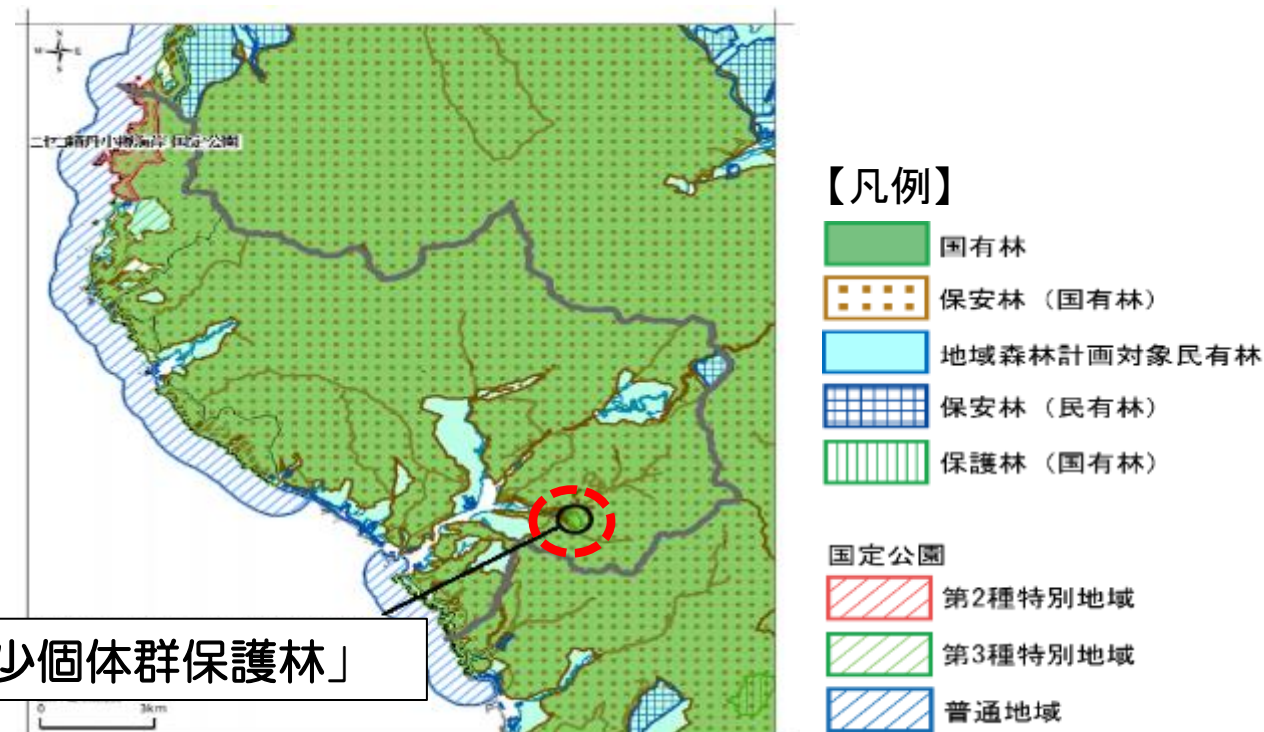
⚠ 概要調査時に留意すべき主な事項

## ● 経済社会的観点からの検討について

- 文献調査段階の「経済社会的観点からの検討」では、土地の利用制限を調査します。
- 公開情報により、神恵内村の土地利用状況を調べた結果、処分場の建設や現地調査の観点で土地利用が「原則許可されない地域」として、「神恵内トドマツ遺伝資源希少個体群保護林」が確認されました。



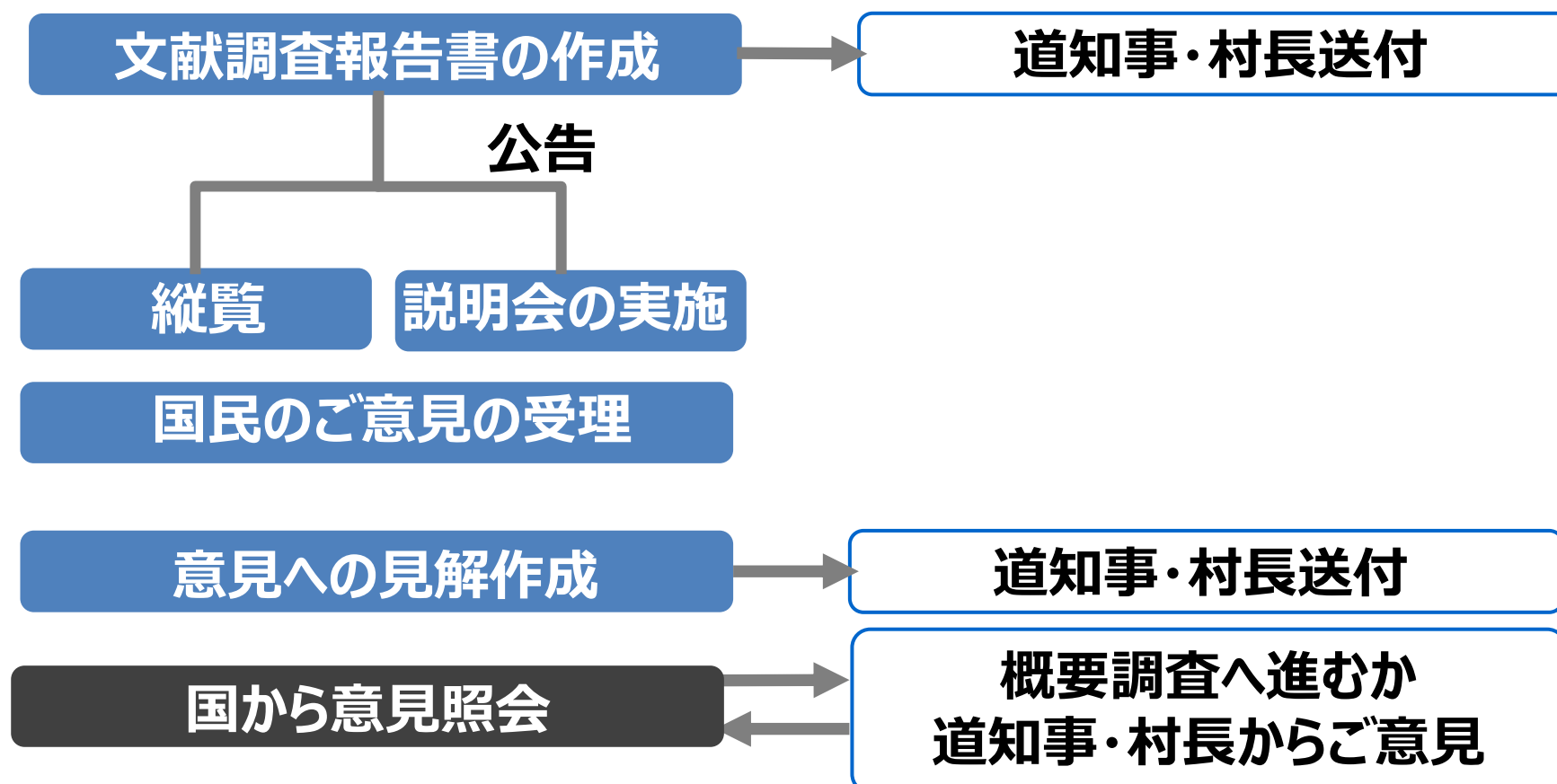
「神恵内トドマツ遺伝資源希少個体群保護林」





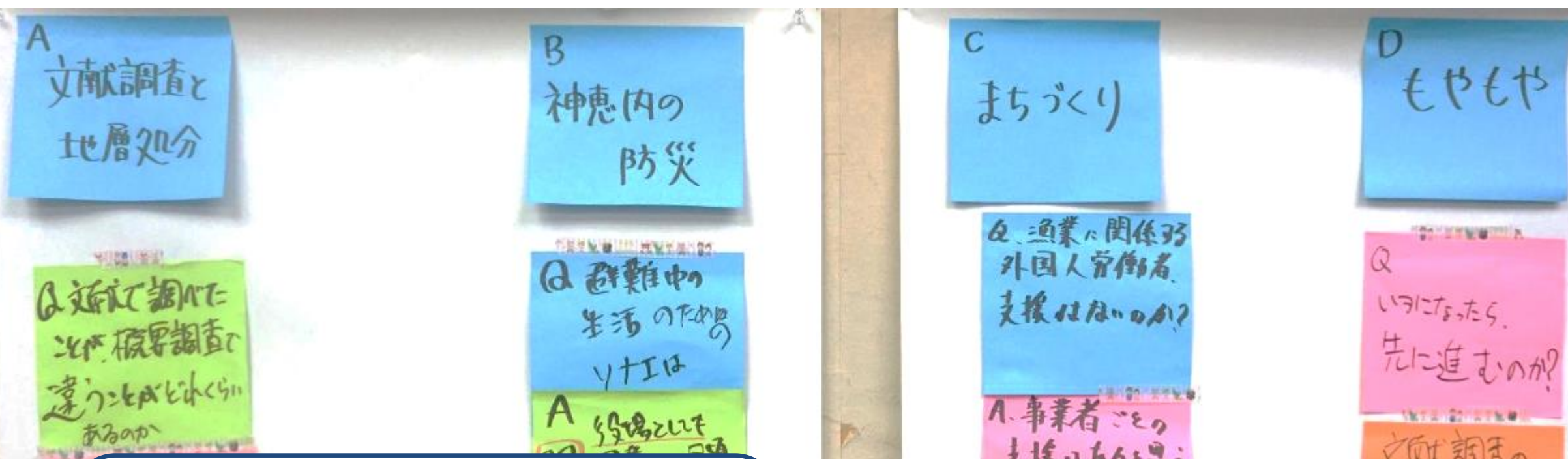
## ● 今後の流れについて

- 「文献調査報告書」の完成後、公告・縦覧・説明会を実施します。
- さまざまなご意見を踏まえて概要調査地区を決定し、概要調査へ進むかどうか、国から神恵内村長、北海道知事へ意見照会を行います。



### ◆ テーブルワークでの意見や質問

★多くの意見や質問から一部を紹介！



#### <文献調査>

- ・概要調査で具体的に何がわかるようになるのか早く知りたい。

#### <防災>

- ・避難生活になった場合に役場の備蓄だけでは足りなくなってしまうおそれがあるので、村民の皆さまにもそれぞれ、三日間相当の備蓄をしてほしい。
- ・備蓄しておくの良いものについては、防災ガイドブックに記載しているので、参考にしてほしい。

#### <まちづくり>

- ・ウニの殻剥き体験などの、漁業を体験できる施設が欲しい。

- ・村全体で、「神恵内村に若い人を呼び込む施策」などを話す場が欲しい。

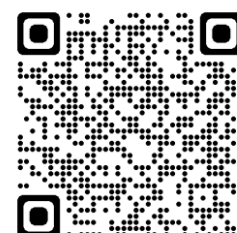
#### <もやもや>

- ・今後のスケジュール感について。いつになったら次の概要調査に進むのか。
- ・村の中には（洋上風力など）他の事業がある。その事業を進める際にどのようなプロセスが必要なのか（もやもや感がある）

配付資料や映像は、  
NUMOホームページでご覧いただけます。

NUMO

<https://www.numo.or.jp/>



当日の資料などについては、神恵内交流センターにおいても配布しております。より詳しい内容にご関心のある方は、神恵内交流センターまでお気軽にお問合せください。 電話番号:0135-67-7711(代表)